

Seagaia meeting 2020 online

京都大学大学院医学研究科EHR共同研究講座
NPO MedXMLコンソーシアム
NPO 日本openEHR協会

小林 慎治

注意事項

- 質問は「チャット」に書いてください。
- 参加時にミュートしております。質問などで発言される場合はこちらからミュート解除します。
- パスワードやアクセスURLを不用意に公開しないでください
- ミーティング上、不適切と主催側で判断した時点で退場していただきます。

データを使う

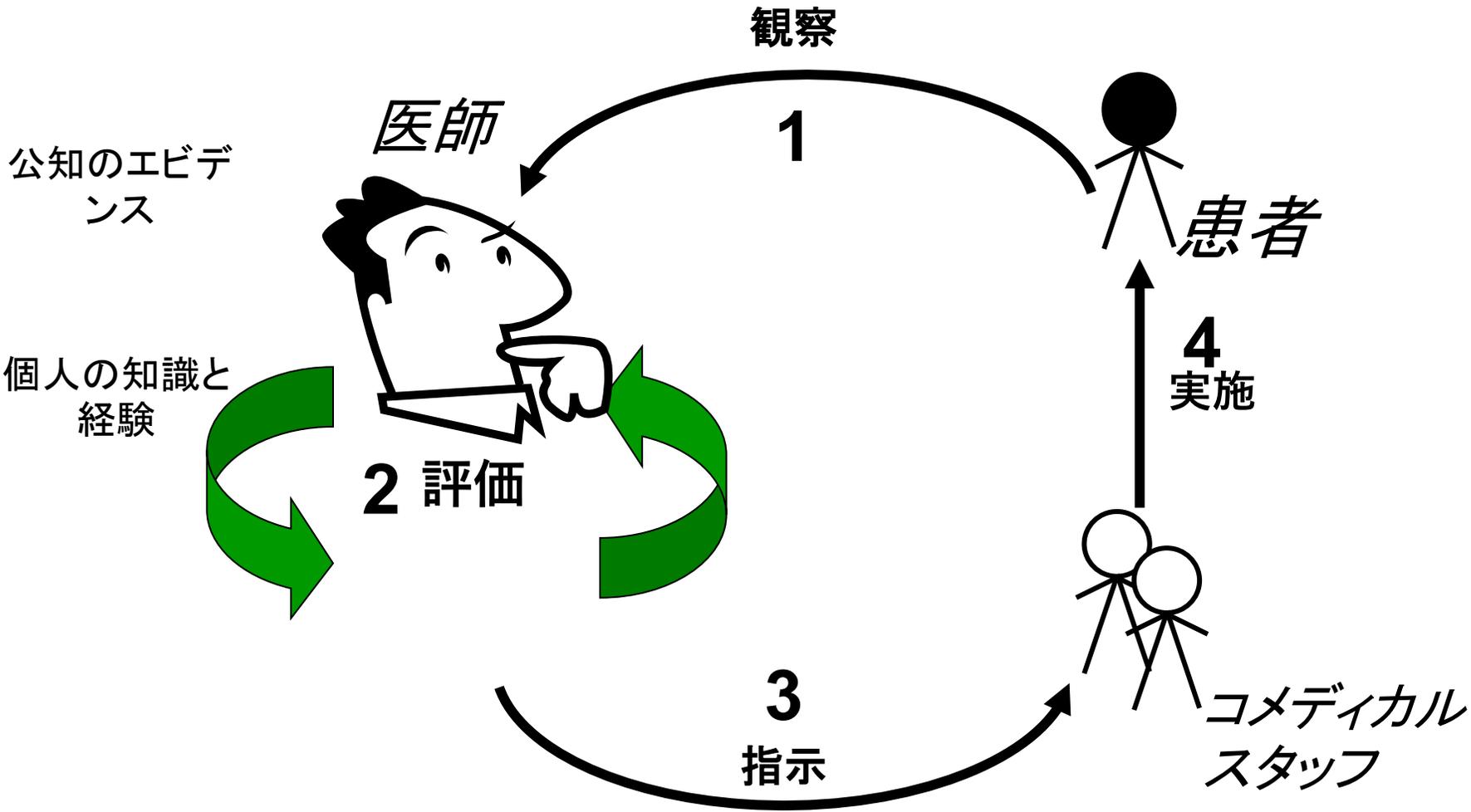
京都大学大学院医学研究科EHR共同研究講座

NPO MedXMLコンソーシアム

NPO 日本openEHR協会

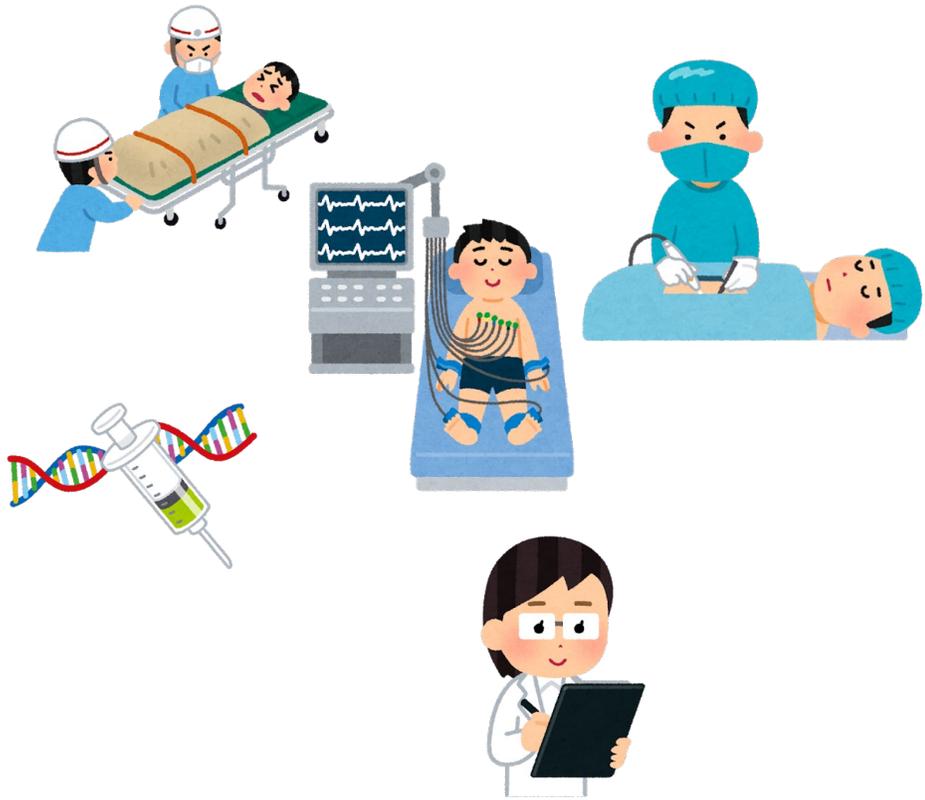
小林 慎治

医療におけるデータの流れ

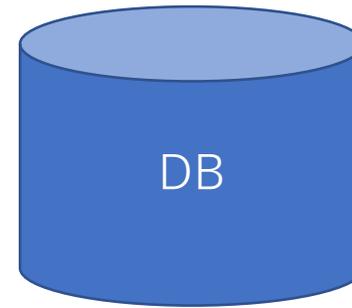


医療データ利活用のイメージ

データソース



データベース

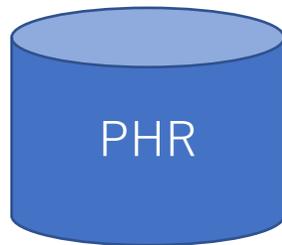


利用



医療データの実際の用途

健康管理
生活管理



疾患管理
病院管理



研究
公衆衛生



ヘルスケアデータ基盤

健康管理
生活管理



疾患管理
病院管理



研究
公衆衛生



統合EHR(Integrated EHR)

ヘルスケアデータ基盤に求められるもの

- 高い相互運用性
 - 標準化されたインターフェース
 - 標準化された用語、記録形式
- 安全性
 - 適切なアクセス制御
 - 必要に応じて匿名加工
- 長期にわたりデータを記録することができること
 - 一生にわたる健康関連のデータをすべて保存できること

まいこ・はにわネットから千年カルテへ

まいこ・はにわネット

- インターフェース
 - MML 3.0/2.x
- データ構造
 - Cache
 - XMLデータベース

千年カルテ

- インターフェース
 - MML 4.1.2
 - SS-MIX
 - HL7-CDA-R2(健診)
- データ構造
 - ISO 13606/openEHR
 - モジュールの追加が容易

ヘルスケア基盤確立に向けて

- 千年カルテの更なる機能充実
 - API整備
 - 収集可能データの拡充
 - 他のEHR事業との連携
- 法制度の見直しと改善
 - 次世代医療基盤法
 - 個人情報保護法
- データ利用拡大
 - 経験を積む